

常磐文藝

幻の乙女

葉山不二夫

淡紅色の電燈の下に
詩集をひらき
読み耽けをれば
終日の疲れに
いつしかまごころみて
夢のあこがれ
まぼろしの戀
紫かざる長振袖！
漆と黒き黒髪は
曲線が小肩に
長く尾と垂れて
百合の花にまごふ
美しき幻の乙女！
いつ現れて
いつ消えゆく
面影の主は……
お！
そは、なつかしのわが
乙女なり。

新川の堤に立つて
見てゐたら
可愛いつばくら
すいすいと
橋の下をくぐつてゐる
虫を取らいてゐるのか？
遊んでゐるのか？
否！否！
櫻の木の上には
子供が待つてゐる

三種の体温計
寒暖計
電音番
関内薬局

いや……君、見違
ひたよ
い、洋服を求めた
ね
いやコレカネ……
例の「ソレ」
正札堂さ
アハハ……



り通車停町平
堂札正

耳鼻咽喉科専門
場所 (舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

器械新設
体温計無料検査
皆様のお手元まで御覧に入れました引札の如く今回最
新優秀なる検定器を設置し無料で検査いたしますから
御遠慮なく御待参を願ひます
(検査日毎月十日)
平町二丁目
指定販賣店 西村薬舗
(電話三番)

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新瀉醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五二三番

齒科
外科 口腔
一般 齒科
神谷齒科醫院
日本齒科 醫學士 神谷 辰夫
平町古銀治町八十八

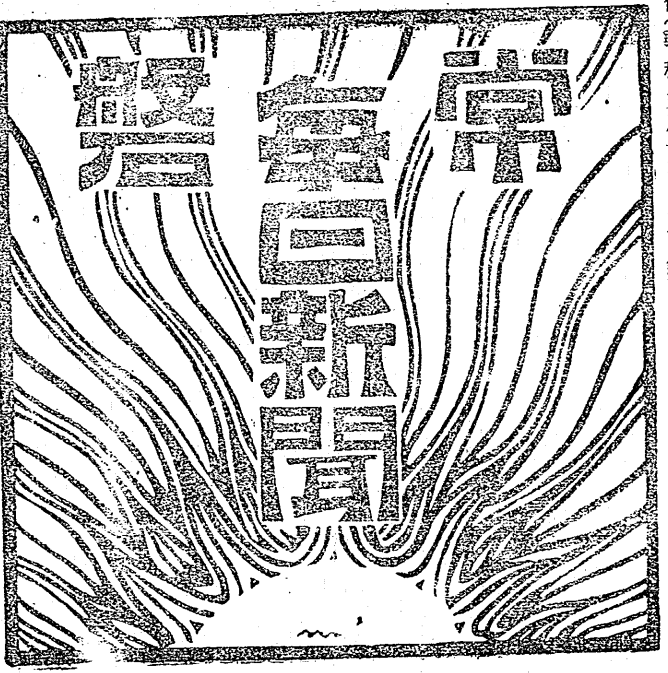
花柳科専門
木村外科醫院
入院自炊の便あり
平町五丁目橋際
電話三〇九番

高級 ビール 新カスケード
品質……世界的標準
名は 其れ カスケードとあれど お
なじみ深きその新經營者……赤玉ボー
トワイン本舖壽屋の新醸品！まして
本場ドイツ仕入れの純原料によつて一
大改善を加へたる品質と無限の美味を
たへたるその新体裁！總ては 全
く面目を一新せる新カスケード 必ず
やビール黨のビールとして賞讃を受く
ることゝ自信せるもの 茲に新カスケ
ードを皆様のみなへに御披露致します
仙臺屋號 關 與 三 郎
和泉屋 關 内 半 平
警城平長橋町 電話五四八番
警城平長橋町 電話一六〇番

一年丸はんの 藏拂ひ
一回丸はんの 大賣出し
——來る。九日。より。十五日迄。——
堀出物澤山……お早いが勝ち
ダンス、家具、雜貨 平町三丁目
各國産 漆器一般 丸 はん
藤製品、夏家具類 丸 はん
電話三五九番

公債、兩替 債券、質商 多田井ワカ商店
平町大工町

常磐新聞
定一部金貳錢 廣五號十二
一ヶ月拾錢 告字計一行
印刷費五厘 料五十錢
休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷所




刊夕日三十月七

寄書
藝術始源に
關する一考察(三)
吉田 九郎

たとは九太の様なもの
叩かれた事から起つたので
あらう。とにかく舞踊と歌
謡とが最初の藝術であつた
今日吾々は文學、造形美術
音樂を區別して居る。然る
に當時に於ては是等の形態
は混在して居た唯か、詩の
一篇を身振り面白く、いみ
じき抑揚と共に朗讀したと
する。吾々は此の場合彼が
詩の効果を高めるためにの
み音樂的要素と、舞踊的要
素とを附加したとしか考へ

ない、所が藝術發生時代に
あつては事情は全然別であ
る生蕃の踊りにあつては音
樂的要素と、舞踊の要素と
が一つに混和してゐてそれ
等の中の何れをも主要な要
素として擧げる事は出来な
い。後世ギリシヤ悲劇とし
て、その光栄永へに文學史
上の異彩となるまで發達し
て行つた、かのデイチュラ
ムボスの如きも合唱と身振
りとの混合物であつた。カ
ルーン一の歌ひ方には劇的
表現があり過ぎる」とまで
評する現代の觀念に於ては
斯の如きは到底解し難き所
であらう、藝術を考察する
に當つて史的省察の欠くべ

からざる所以である。當時
の藝術はその形態の確實性
を欠いて居た様にどこから
どこまで藝術でどこからど
こまでが實生活であると云
ふことも分明ではなかつた
立場を更へて考へて見ても
人間の勞働力がその生活に
必要以上のものを極めて僅
かしか生産し得なかつた當
時、實生活に直接の意義を
持たぬ即ち生産力の浪費に
過ぎぬ藝術なり何なりが存
在し得た等とは如何して考
へられ得よう。



平町の人口が一時に百名増す

小島の一部を合併

地主の調印を取り纏む

尼子亭の前通り長橋町の地続きにチョッピリ恰も離れ小島の様な観を呈して内郷村の一部が食ひ込んで居る地名は 内郷村大字小島字新町であるが新川の河手前だけに萬事は平町と交渉が深いに拘らず鼻ツ先に水道の共用栓があつても夫れを使用する事が出来ず子弟は態々遠方の内郷小學校へ通はせねばならず郵便物の

配達には 綴局を迂回

するから遅れがちといつた調子で同區の人々が不便を嘆つての聲は仲々に大きい、茲に眼をつけたのが新任早々一時尼子亭に下宿して居た遠藤助役で、これは何んとの致さねばなるまいと内郷村長にも當つて見た處案外に話しが早く進み愈よ新川以北の同區域地主廿名に對し平町に編入すべき

同意の 調印を纏め

て居るが地主の多くは平町の人である處から是れ又トンク評子に進んで近く平町會と内郷村會とか夫々決議を了して縣知事に認可を申請する段取りになつて居る、右の區域合併が實現すれば現在の

廿四戸 の家に住む

百數名の人々が平町の人口

に加はる譯で同地域に住む人々は今迄の不便が一掃される處から一日もはやく實現される事を望んで居る

聯合演習は

明日決行す

川波中佐視察

平青年訓練所を中心とする各種團體聯合演習は既報の如く明十四日午前七時半元平商校庭に參集新舞子に向つて行軍演習を行ふ筈であるが此の壯舉を親しく視察せんが爲め司令部川波中佐來平さるる旨本日電話を以つて通報あつた由

平運輸が貨物

自動車を開始

平運輸株式會社にては今般周圍の要求に應じ貨物自動車營業を開始し一般貨物の集貨配達共に一層迅速丁寧を旨とするのみならず貸切扱の用命にも應ずる事になつた

平町地方

徴兵検査

今十三日から

平町地方の本年度徴兵検査は今十三日午前七時から同町元郡衙においてそれ執行する日割は左如し
△十三日 上小川村組合、湯本町、十四日 大浦村、

草野村、平窪村、神谷村
▽十五日 江名町、玉川村
夏井村、飯野村△十六日
澤渡組合村、永戸村組合
小名濱町△十七日 大野村

一道六縣の代表

理事に井上氏推薦

大日本消防協會組織を變更

本縣常議員の依頼状

大日本消防協會は愈々國費十萬圓の補助交付決定した爲め協會の組織を變更し財團法人の登録と同時に代議員會を開き理事を互選する事になつたが理事は一道六縣を一區とし一名を互選す制度である爲め同協會創立者の一員として多年消防事務に心血を注げ平消防組頭井上茂作氏を斯道に造詣深き熱心家として理事に圓滿當選せしむべく本縣同協會の常議員安戸瀬の上組頭を始め十六名の常議員連署を以つて一道六縣下の保安課長及び代議員に依頼状を配附した

庶民金融講演

平町

十三日曾は午後七時より常磐銀行平支店樓上に開會吉田平商校長の庶民金融に就



あちの常盤燒

材料(三人前)——鱈三
十匁、葱十匁、白味噌二
十匁、生姜六匁、メリケ

高久村、川前村、好間村
△十八日 鹿島村、磐崎村
四倉町△十九日 平町、△
二十日 豊間村、内郷村、
赤井村△二十一日 内郷村

町民体育大會

來月廿五日

平青年團主催町民体育大會は來月廿五日警城中學校々庭に於て開催すべく昨夜の幹部會にて決定した

紅君連も競技

平町

田町青年分團にては來る廿七日午後一時から平第一校庭にて區民体育大會を開き場所柄として新田町紅君連の競技もある由

受験準備講習

警中同窓會で

平町警城中學校同窓會では今年も夏季休暇を利用して受験準備の講習會を開催すべ

ン粉五匁、バター九匁、
キヤベツ二十匁、青ノリ
少量、味淋少量、砂糖少
量、鹽少量、(以上にて
蛋白質三八、二瓦カロリ
一六七五)
調理法 鱈は三枚に卸し鹽を撒布しておく、葱は摺鉢にてよくすり生姜の搾り汁および白味噌を加へてなほ

準備中であつたが愈々來
廿四日から十二日間毎日午
前七時半から十一時半まで
同校において開催する事と
なつた因に講習科目並に講
師は

激戦を豫想

濱三郡豫選

全國少年野球選手地方豫選を兼ねて「いはらき」新聞社主催少年野球大會は既報の如く十四日午前九時から平町警中グラウンドに於て

募集

文藝其他投稿

舉行されるが前回の優勝チーム平第一校を始め参加校は目下必死の猛練習を續けてゐるから當日の激戦は今から豫想されてゐる

明日の天気

南寄りの
風暑さ嚴

よくする、これを鍋に移して火にかけて味淋砂糖、鹽にて味をつけ水溶きにしたメリケン粉を加へてドロドロにし、更に青のり少量を加へる、この味噌を鱈にぬりてバターをしいて天板にならへ天火にて焼くキヤベツは熱湯にさつとひたし織に切りて取合せとする

自動車傷害

目撃者の一人より

左記は無記名の投書であるが本社は同感の意を表し茲に原文の儘掲載して各位の御覽察に訴ふ次第である

本月九日松崎自動車部運轉手明石金助(三)なる者が田町丸新館前に於て赤井村字西小川佐藤忠道(三)なる少年を轢き爲に同日午後三時市原病院に於て死亡したものである。事實は頗る簡單明瞭であるが社會は之れに對し如何なる觀察をなすのであるか私は將來自動車の運轉手は勿論、之れを使役する所の營業者に對しても充

分考慮と反省を希望して止まぬものである。佐藤少年は尋常六年にして佐藤福太郎氏の長男である、私は人の親として同少年の死を只々對岸の火災視するべく餘りに悲惨であると思ふ。同少年の両親は殆んど自失する程嘆き悲しむとも及ばぬ事下誠に同情に堪へない、同少年の歩いて居た場所は丸新館の入口の約一問程前で完全に左側を通行して居たのである。處が自動車は全速力で走つて來てイキナリ少年を轢き倒したのであるから其の不注意が加減は殆んど言語同断と申すべきものである、若し自動車

多少なり注意して走つて居たせば前車下轢いた時に停車すべきであり又停車せねばならぬのであるが其時の状態は前車でしき猶且つ後車でもしき全く完膚なき迄でにじし倒したのであるから運轉手が如何に辯解しても殆んど普通の過失と見做す譯には行かないのである、其の點は其れを親敷目撃した所の丸新館の人々並に向へ側のラヂオ屋の妻君に聞けば明瞭するので其の點は一點の疑ひもない事實である。然るにも係はらず運轉手はしき倒した場所は丸新館の直前にあらず、牛久洋服屋の角なりと詭辯を

弄して當局を欺かんとする如きは到底許すべからざる不都合の所爲と言はねばならぬ。昨今の運轉手の中には不良少年の成りの果てと申す如き者が偶々あり平常無垢の婦女を誘拐する事を能事と心得て居る者がある噂もある。明石金助なる者も或は其の類の者にはあらざるか?

自動車事故の大部分は前夜種々の罪惡を犯しロク／＼の困憊して遂に重大なる事故を惹起するものが非常に多い様である、私は如斯不注意なる運轉手に依りて惜しむべき前途有爲の少年が犠牲になりし事を悲しむと共に將來不良の運轉手を警告する意味に於ても充分なる制裁を加へ以て將來此の種の慘事を根絶する事を望むものである。此度の事故が單なる過失として處理せられんか爾後此種の重大事故が頻發する事故に豫見するに難くない昨今自動車の發達が日に月に驚くべき進歩發達すると共に夫等の業務に従事するものが一層緊張したる注意をなすにあらざれば吾人は安如として通行する事も出来ない事になるが故に充分慎重の注意を促すべく敢て一言を呈し江湖の批判を乞ふ次第である